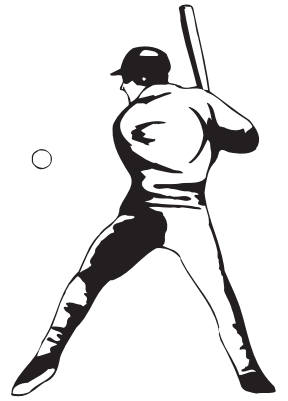




坂本竜馬

第1位

シニア世代 100 人に聞きました わたしの心の ヒーロー



60 歳以上のシニア世代の方々に心のヒーローをお聞きしました

お1人おひとり心のヒーローは異なり、歴史上の人物からスポーツ選手、芸能人、政治家、文化人、アニメのキャラクター、そして身近な人など、多岐にわたりました。
トップ3は次の方です。

1位……坂本竜馬	5人
2位……西郷隆盛	4人
3位……石原裕次郎	3人
司馬遼太郎	3人

坂本竜馬（1835年～1867年）は江戸末期の尊攘派の志士。土佐藩出身で19歳で江戸に出て、北辰一刀流の千葉貞吉に剣を学びます。26歳で脱藩し、勝海舟に入門。その後、32歳で海援隊を発足させました。薩長同盟の仲介を務め、前土佐藩主山内豊信を説いて大政奉還を成功させるなど、幕末に活躍したヒーローです。

☆アンケートより原文のまま掲載

「石原裕次郎」堀内広栄さん（宮前区・69歳）
私は石原裕次郎と同年代。北陸の上越市直江津にいた頃、彼が24歳のとき、ある新聞社の招待で聴衆に挨拶に来た。私も映画『嵐を呼ぶ男』の主人公のような建設会社勤務であったので、その生き様に感動したものだ。それ以来、彼の映画やテレビをよく見たし、自分の建設の仕事が誇りであった。

「坂本竜馬」美濃部三郎さん（宮前区・64歳）
市井の人でありながら、世のため一筋に、明るく自己犠牲をまっとうするところ。

「司馬遼太郎」T.Hさん（宮前区・67歳）
執筆に先立ち、じっくりと実資料を手元におき調べ、構想される姿勢。

「西郷隆盛」K.Kさん（幸区・60歳）
郷土の偉人、日本が変わった。

「マザー・テレサ」K.Aさん（中原区・64歳）
彼女の信仰に圧倒された。

「織田信長」大橋金造さん（幸区・83歳）
智略に富む、果敢断行。

「川上哲治」会田能功さん（高津区・72歳）
戦後プロ野球が復活し、赤バットの川上、青バットの大下の人気は大変なものでした。私が後楽園球場で最初に観戦した試合で活躍した選手が、ジャイアンツの川上選手でした。以来、川上選手の大ファンになり、監督として日本一に9回優勝するなど、野球界に貢献されました。

「野口英世」佐藤正和さん（宮前区・68歳）
同郷の人で、貧乏の中でも自分の意志を貫いた。

「小沢征爾」H.Kさん（宮前区・70歳）
周りからいびられても自分を信じて、海外で認められ花を咲かせた。彼の良い意味での反骨精神は、我が心の支えとなった。

「杉原千畝」阿宗杏子さん（幸区・61歳）
第二次大戦中、身をもって「人道的」立場でたくさんの方のビザを発行した「平和の人」。こういう人が現在もいてほしい。人道的立場で兵を出す首相も見習ってほしい。

「高校時代の担任 津田正太郎先生」
田辺信さん（麻生区・66歳）
清貧の中で、家庭と研究生生活を続け、教育の何たるかを教えてくれた。

「シャルル・ボワイエ」T.Oさん（川崎区・74歳）
戦後、外国映画が解禁され、20代の若い頃、胸とどろかせた。

「グリア・ガースン」梅田宏之さん（幸区・75歳）
太平洋戦争後、娯楽の無い時にアメリカ映画が入ってきて、中でも「心の旅路」（原作：Random Harvest）に感動しました。出演はロナルド・コールマン、グリア・ガースンで、1942年の作品だったのですが、その映画の中に出てくるアメリカの生活には“憧れ”を感じました。戦時中に、このような映画を制作していたあの頃のアメリカは、懐の深い愛と自由の国と想っていたのですが。